

令和4年やまがた環境展

- ◎ **開催日**
令和4年10月15日及び10月16日
- ◎ **開催場所**
山形国際交流プラザ「山形ビッグウイング」
(山形市平久保100)
※令和4年12月23日から、出展ブースの紹介動画をYouTube配信
- ◎ **主な内容**
 - ・ 著名人によるトークショー
出演：環境省ナッジ・アンバサダー 谷本道哉氏
 - ・ 出展企業・団体による情報発信 (43社・団体)
 - ・ 各表彰式
 - ・ おもちゃの交換会「かえっこバザール」
 - ・ やまがたSDGsフェスタ (同時開催)
 - ・ エコカップやまがた2022 (協賛事業)
 - ・ 令和4年度やまがた環境展スポGOMI大会 (協賛事業)
 - ・ やまがた新車フェスティバル (協賛事業)
 - ・ マイカー点検フェスティバル2022 (協賛事業)
- ◎ **参加者数**
 - ・ 来場者数：合計10,038人
 - ・ 出展ブース紹介動画再生回数：9,169回
(集計期間：令和4年12月23日～令和5年2月28日)



「てまえどり」の普及啓発【新規】

- ◎ **目的**
買ってすぐに食べる場合には、商品棚の手前に並べられている販売期限が近い商品を積極的に選ぶという「てまえどり」について、食品小売店舗等で消費者に啓発し、消費者行動を意識づけ、食品ロス削減の取り組みを広げていく
- ◎ **実施店舗**
もったいない山形協力店のうち、希望した小売店・スーパー・コンビニエンスストア等 722店舗
- ◎ **実施内容**
県が作成した「てまえどり」の啓発物 (POP、ポスター) 配布し、消費期限等のある食品 (牛乳、納豆、豆腐、パン、おにぎり、弁当など) の棚に掲示する
- ◎ **POPの仕様及び配布個数**
 - ・ スーパー用：耐水B8カードタイプ (H64×W91mm)
1店舗あたり80枚
 - ・ コンビニ用：耐水レールPOP (H40×W200mm)
1店舗あたり20枚
- ◎ **実施時期**
令和4年10月～令和5年3月
- ◎ **成果等**
今回の事業に合わせて新たに協力店に登録する店も多く、協力店数が昨年度末から倍以上に増加し、広く啓発を実施できた



フードドライブ普及促進事業【新規】

◎ 背景

フードドライブについては、報道等で県民の認知度は少しずつ高まりを見せており、フードドライブを行ってみたいとの問い合わせもあるが、県内で実施される件数はまだ少なく、県民にもっと気軽に取り組んでもらい、活動の輪を広げていく必要がある。

◎ 実施内容

- (1) 県内4地域における研修会の開催
- (2) 内陸・庄内地域におけるフードドライブ活動展示及びミニ講演会の開催

◎ 委託先

一般社団法人やまがた福わたし（山形市）

◎ 成果等

- (1) 県内4地域における研修会の開催
座学8回、実地4回を開催。102人（12月末）が参加。
- (2) 内陸・庄内地域におけるフードドライブ活動展示及びミニ講演会の開催（リサイクル認定製品展示会と同時開催）
 - ・ 令和4年12月2日～4日（週末3日間）
イオンモール天童（天童市芳賀タウン）
来場者数：97名（うちミニ講演会(12/2) 10名）
 - ・ 令和4年12月16日～18日（週末3日間）
イオンモール三川（東田川郡三川町猪子）
来場者数：29名（うちミニ講演会(12/17) 13名）



リサイクル認定製品展示会【拡充】

◎ 背景

- ・ リサイクル認定製品の利用拡大に向け、製造事業者の声を聞いたところ、「商談会等よりも、一般県民へのPRが先」との意見が多かったため、展示会を企画
- ・ 展示会会場は、常態的に来店者の見込める大型商業施設等とし、内陸会場に加え新たに庄内会場でも開催

◎ 開催日及び場所

- ・ 令和4年12月2日～4日（週末3日間）
イオンモール天童（天童市芳賀タウン）
- ・ 令和4年12月16日～18日（週末3日間）
イオンモール三川（東田川郡三川町猪子）

◎ 内容

- ・ 全52認定製品の紹介パネル展示、一部製品のサンプル展示
- ・ 職員による案内、説明
- ・ 民生品（解体自動車のエアバッグやシートベルトを利用したバッグや椅子）の製造事業者による即売
- ・ フードドライブ活動に関するパネル展示・ミニ講演会

◎ 成果等

- ・ 来場者 イオンモール天童：646人
イオンモール三川：425人 計 1,071人
- ・ 職員の説明を熱心に聞かれる方が多く、また、親子での来場も目立った



県機関でのフードドライブ

◎ 実施場所及び期間

実施場所	期 間	参加者
県庁(県庁舎)	①9月7・8日 ②2月2・3日	①庁舎職員 ②一般県民・庁舎職員
村山総合支庁 ①本庁舎・村山保健所 ②西村山・北村山地域振興局	①10月12日 ②10月13日	各庁舎職員
最上総合支庁 ①管内市町村庁舎 ②本庁舎・保健所庁舎	①10月5～19日 ②10月20～21日	各庁舎職員
置賜総合支庁 ①本庁舎 ②西置賜地域振興局	①2月8日 ②2月9日	一般県民・庁舎職員
庄内総合支庁 ①小真木原総合体育館 (環境フェアつるおか2022会場) ②本庁舎	①9月25日 ②10月28日	①一般県民 ②庁舎職員

3 R 研究開発事業費補助金・ 循環型産業施設整備事業費補助金

◎ 交付決定事業 (※外部委員による評価委員会審査)

【研究開発】

- ① こめ油製造時における産業廃棄物削減のための脱脂米糠等のコンポスト化
- ② フラットパネルディスプレイ用フォトマスクケースの産廃削減のための3 R 研究
- ③ 建設残土の適正処理における土質改良のための改良剤

【施設整備】

- ① 無処理化CTPシステムの導入による現像液の発生抑制

とびしまクリーンツーリズム オンライン 2022

◎ 背景

コロナ禍のため昨年度に引き続き調整のうえ、オンラインでの開催とした

◎ 開催方法及び時期

オンラインツアーとして令和4年12月から1月の土日に、基礎編、応用編の2プログラムで計20回開催

◎ 対象

県内在住の小中学生の親子等 (参加無料)

◎ 主な内容

(オンラインチャットによる双方向LIVE配信、
基礎編90分:小1~小4、応用編120分:小5~中3 想定)

- ・海ごみ講座 (海ごみ問題について写真や映像で説明)
- ・飛島の生配信 (島の魅力や海岸の様子等)
- ・マイクロプラスチックを使った万華鏡づくり

◎ 成果等

- ・参加者 87組 208人
- ・参加者からは、「海岸に多くのごみが流れ着いているのを見てびっくり」「陸からのごみだと知って、他人ごとではなく自分たちの問題だと実感」「生活で使うプラ製品を減らせないか考えた」「チャットでみんなの考えがわかりアイデアが浮かんだ」の声



← 参加者への問いかけ
(調べて考える応用編)

↓ 海岸からLIVE配信

